

1. 平成30年度 事業計画書

自 平成30年4月 1日

至 平成31年3月31日

印刷図書館は、戦後まもない昭和22年に、日本の印刷技術の自立と発展を目指し、将来を担う印刷人の学びの場として設立され、平成29年3月に財団設立70周年を迎えました。

当館は設立以来、「印刷文化に貢献すること」を目的に、印刷の唯一の専門図書館として、資料閲覧などの日常業務を進めるとともに、印刷史の立場からみて史料的価値のある印刷物や歴史的に貴重な印刷文化資料の保存活動に努めてきました。そして、平成29年9月に、財団設立70周年記念事業の一つとして主要な印刷文化資料と蔵書目録や、印刷図書館の歴史などを併せて収録した『印刷図書館コレクション』を刊行し、業界内だけでなく、芸術・文化および関連の専門情報機関・研究機関160館余りへ贈呈し、印刷文化の普及並びに、印刷図書館さらには印刷産業に対する理解の促進に努めました。

平成30年度は、これまで以上に、「印刷文化に貢献する図書館」をめざし

印刷の専門図書館としての整備充実の強化を図るとともに、日本印刷産業連合会との連携をさらに深め、情報発信強化や多くの関係者との連携を深めることで、図書館活動の活性化に努めます。

事業計画

1. 専門図書館としての整備充実の強化

今日、インターネットの普及やデジタルメディアの広がり等により、情報収集の手段は多様化し、図書館を取り巻く環境は大きく変わり、受入れ資料は、紙版から電子版へ徐々に移行してきました。しかしながら、近代印刷産業の黎明期から、現代の多様化する印刷産業の活動を腑願的に閲覧できる150年分の史料が閲覧できるのは、国内でも印刷図書館だけです。今後さらに、印刷文化に貢献する図書館をめざし、下記における図書館事業の一項一項をこれまで以上に丁寧に充実させ、日本の印刷産業のデータベースとしての役割を担っていきます。

(1) 図書館運営事業

- ・ 専門図書館としての一般公開及びサービス
- ・ 図書・資料の収集、整理
- ・ 利用者への蔵書の紹介・検索、情報の提供
- ・ 関連機関との相互協力

(2) 広報活動事業

- ・ 受入れ資料のデータベース化
- ・ インターネットへの蔵書データの更新作業
- ・ ホームページを通しての新刊情報の紹介
- ・ ホームページを通しての財団活動報告、その他

(3) その他の事業

- ・ 所蔵する印刷文化財の貸出等

2. 図書館活動の活性化

印刷図書館は、印刷文化を幅広く伝えることを目的に、平成29年9月に、2万点を超える所蔵資料の中から、主要な印刷文化資料の図版と蔵書目録や印刷図書館の歴史などを併せて収録した『印刷図書館コレクション』を刊行しました。刊行後は、業界内だけでなく、全国の文化・芸術および関連の専門情報機関・研究機関へ広く配布・頒布して、印刷文化の発信、並びに印刷図書館さらには印刷産業に対する理解の促進に努めました。

平成30年度は、この発信を契機に、コレクションの利活用・収蔵品の保存方法の見直し等を進めるとともに、日本印刷産業連合会との連携を深めながら、印刷図書館への関心・利用度を高めるために、関連する団体等とのネットワークの提携・協力関係を構築し、図書館活動の活性化につなげていきます。

以 上